

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和4年度分 】

施設名	湊原体験学習センター（浜遊自然館）	施設所管課	市民活動支援課
指定管理者	浜遊の森の自然を守る会	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 ・対象施設が広範囲に及ぶものの、適切に管理運営がなされている。 ・施設の愛称である「浜遊自然館」は広く市民に親しまれており、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、自然を活かした魅力的な講座や子どもから大人まで楽しめる体験を企画するなど多くの利用者が訪れるよう尽力されている。
	【改善すべき点】 ・施設の老朽化に伴う修繕経費の増は、必要に応じて、市としても対応をする。 ・指定管理者と協力し、更なる利用者の拡大のため、施設のPRに努める必要がある。
指定管理者	【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス感染防止の観点から止むを得ずイベントや講座を中止する一方、開催した講座については感染防止を行いながら利用者増に努めた。
	【改善すべき点】 施設の老朽化に伴い施設の修繕箇所が増えている。今後も適宜修繕を行い対応する必要がある。

2. 施設利用について

総括	・6月のハナショウブ祭りは、感染症拡大防止のため今年度も中止した。この祭りは天候に左右されるものの、例年多くの利用者が訪れるため、今後も継続が望まれる。 ・講座以外では、館内での滞在時間が長くなるような設計になっていないため、館外の施設に多くの利用者が訪れるような仕掛けも検討していく必要がある。
----	---

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

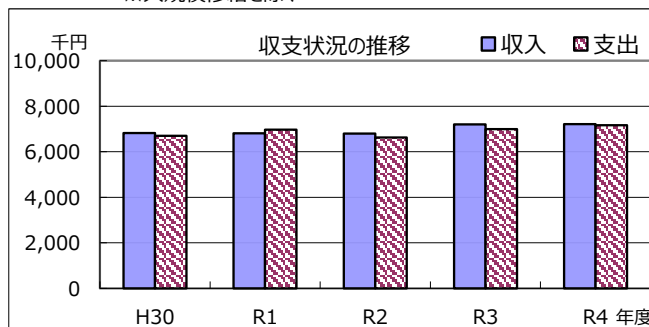
施設	項目	H30	R1	R2	R3	R4
収支	収入	6,827	6,813	6,799	7,205	7,215
	うち指定管理料	6,690	6,753	6,783	7,179	7,179
	うち利用料	137	60	16	26	35
	その他	0	0	0	0	1
	支出	6,703	6,964	6,627	6,996	7,166
差引	124	△ 151	172	209	49	

<上記以外の市の収入、支出>

（単位：千円）

市	項目	H30	R1	R2	R3	R4
収支	収入（使用料）	0	0	0	0	0
	支出	63	246	232	14	183
支	うち修繕費	50	200	218	0	123

※大規模修繕を除く



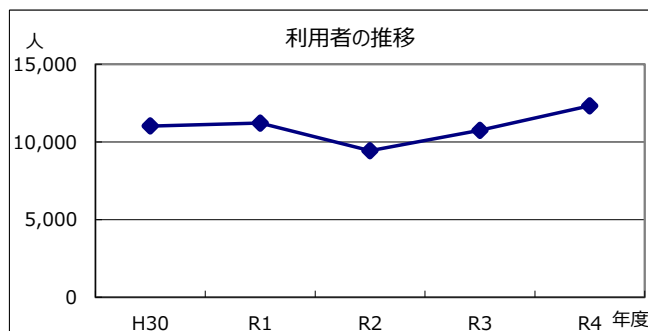
収入増・コスト削減に関する取り組み

- ・施設的环境設備など可能な限り職員で対応し、外部委託経費を抑え、コスト削減に努めた。
- ・物価高騰や電気・ガス代高騰の影響があったが、管理費の節減に努めたため、収支が黒字となった。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用者	H30	R1	R2	R3	R4
	11,024	11,206	9,433	10,747	12,325



利用者の増に向けた取り組み・利用の動向

- ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止の講座もあったが、感染者数が落ち着いてきたこともあり利用者が増加した。
- ・指定管理者は、市広報、広報紙の発行、有線放送、ホームページ等多角的なPRに努めており、利用者の増加につながっている。
- ・(市が別に委託している)生涯学習講座業務において、毎年新しいメニューを加えるなどし、参加者を増やしている。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

- ・新規講座やシリーズ講座の初回にアンケートを実施している。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見	
100 件	①非常に良い	91 件 91.0 %	・時々利用していますが職員方丁寧で親切で良いです。 ・子どもたちにもたいへん優しく接していただき感謝です。 ・いつも気持ちよく利用させて頂きありがとうございます。
	②良い	件 0.0 %	
	③ふつう	9 件 9.0 %	
	④悪い	件 0.0 %	
	⑤非常に悪い	件 0.0 %	

(4) 住民サービス向上の取り組み・事例

- ・親水池は、適切に管理され、毎年ハナショウブが咲き誇る頃には、市民の憩いの場となっている。
- ・地元の講師を探し、作品を館内に飾るなどし、人材の掘り起こしに寄与している。
- ・施設の運営には、指定管理団体の構成員だけでなく、地元住民の協力もあり、それ自体が地域のつながりに好影響を与えている。

3. 自主事業について

総括	・自主事業ではないが、市が指定管理業務とは別に委託している湊原体験学習センター生涯学習講座の実施状況は良好であり、来館者の満足度向上につながっている。
実施状況	・なし

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・設備等の保守点検を計画どおり実施し、安定した施設運営ができています。
- ・施設の老朽化により、比較的費用の大きな修繕工事が必要となってきているため、対応していく必要がある。
- ・危機管理マニュアルを作成し、年2回の消防訓練を実施している。その際に、職員への周知徹底を図っている。

5. 職員（従業員等）の待遇・研修について

- ・職員は常日頃、研鑽に努め、資質の向上を図っている。
- ・情報保護についても、漏洩などないよう常日頃から研鑽に努めている。